

変わりゆく中国のライフスタイル

上海駐在員事務所

吉崎 直敏

「ニーハオ！」皆さまこんにちは。今回のテーマは『変わりゆく中国のライフスタイル』です。

上海に赴任してからちょうど3か月が経過しました。5年前に上海で生活していた時と比べて、街並みも空気も随分と綺麗になっている印象を受けています。

先日、打ち合わせで上海市内にあるオークラガーデンホテルに行った時のことです。時間は午後3時を回っていましたが、喫茶コーナーは地元客で満席に近い状態で驚きました。

ホテルの方にお話を伺ったところ、数年前からアフターヌーンティーを楽しむ地元客が徐々に増えてきたようで、それを如何に充実させるかが、上海市内のホテルにおける重要な戦略の1つになっているようです。

気になる価格帯をよく使われるアプリで検索してみたところ、ホテル以外の一般的な飲食店でも1人あたりの値段が200元以上(日本円で3,000円以上)はするようで、驚きを隠せません。

アフターヌーンティーの価格



ライフスタイル提案型の書店 申活館



日本の報道では中国の成長率が鈍化していることにフォーカスされがちですが、現地で暮らしている感覚からすると、先ほどの事例のように、その消費意欲は留まるところを知りません。

また、最近訪れたお店で印象に残っているのは、上海市内に複数店舗を構える「申活館」です。2012年に1号店がオープンし、せわしい上海市内の雰囲気とは打って変わり、店内は落ち着いた雰囲気となっています。

このお店のコンセプトは、中国語で「就过你想要的生活」。

日本語に訳すと、「自分らしく暮らす」または、「自分らしい生活を送る」等が適切かと思います。日本でいう蔦屋書店のようなお店で、書籍の他に、各国の伝統工芸品や便利グッズ等が陳列しており、様々なライフスタイルを消費者に提案していく狙いが見て取れます。

『変わりゆく中国のライフスタイル』に、気配りや心配りを得意とする日本企業だからこそ提案・開拓できる市場の可能性を見た気がします。